

※文字の大きさは Meiryo UI /12 ポイント以上とし、行間・文字間、上下左右の余白は変更しないでください。
 ※具体的に示したい図、写真、表、グラフなどは、(写真1) (表1) などと文中に記載し、右ページに(写真1) (表1) などと表記の上、貼り付けてください。
 ※文章と図等を組み合わせながら作成することも可能です。各項目の枠の上下幅は変更可能です。
 ※いずれの場合も、必ず A 3 片面 1 枚におさまるように作成してください。ファイルサイズは 5 MB 以下としてください。

エントリー学校名： 島根県立浜田商業高等学校

活動名： 同僚性を高め合える組織へ～浜商版実証実験から見てきたもの～

解決すべき課題：

「担任支援をチームとして図れないか」という命題を持ち、次の2つのビジョンを共有し実践に取り組んだ。

- 1 組織活性化と同僚性向上
- 2 教職員のチーム意識の醸成

目標・方針：

- 1 担任業務の心理的・物理的負担軽減を全職員で図る戦略はないか。
- 2 同僚性を高め合えるチーム組織を作るために、情報共有の在り方に注目して、様々な仕掛けにトライ。

活動内容：

- ・スモールミーティング・学年主任中心に学年部で情報共有、連絡事項の確認、情報の見える化 (写真1)
- ・15分短時間研修・任意で分掌や個人が自己申告で職員会議後実施 (月1回)
- ・3人で生徒朝礼・クラス3人体制(担任1,副担2)・教職員総出で生徒支援,担任支援,業務改善
- ・職員室の席配置見直し・学年会の組織力の向上、チームワークの向上、タイムリーな生徒支援 (資料1)

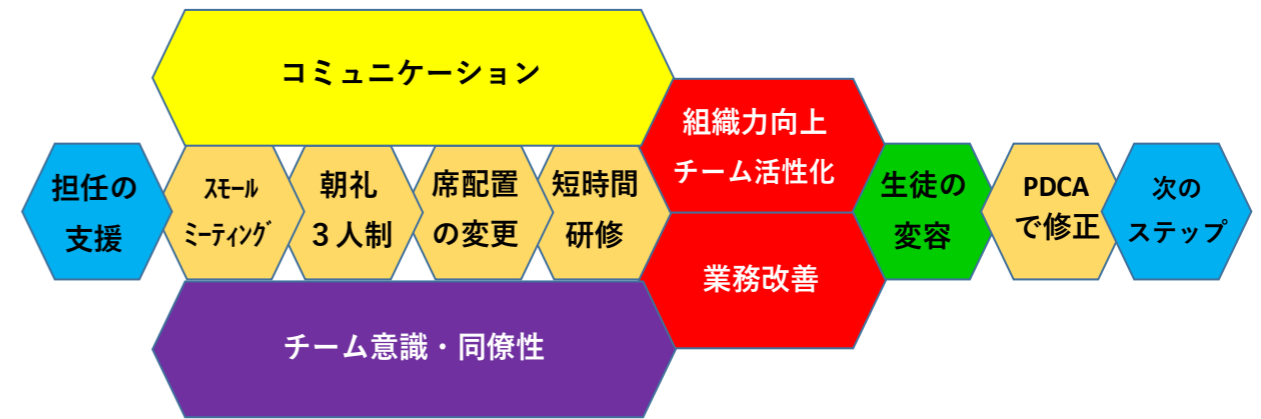
活動の成果： 職員アンケート結果 1～4 (資料2) と自由記述を抜粋 **実施日 10月7日**

- 1 スモールミーティング (職員朝礼後、学年主任主導で各学年シマで実施)
 - ・学年会のチーム意識の向上、心配な生徒への迅速な対応が可能、教員間の共通理解が図られる
- 2 3人朝礼体制 (担任1,副担2)、クラス3人体制(全職員が朝礼へ)
 - ・担任業務の分担で、心理的・物理的負担軽減、生徒へ好影響、同僚の指導方法が参考になる
- 3 15分短時間研修 (任意で申請)
 - ・職員間の学ぶ意欲・自信・意識の変化、手軽さ、色々な人の発表機会がある、幅広い情報が得られる
- 4 職員室の席配置見直し (学年部ごと・分掌部長の席配置)
 - ・迅速な情報共有・対応、相談がしやすく・機能的、部長同士の報・連・相、学年間の連携強化、会話増
- 5 生徒の変容 (資料3)
 - ・出席率の向上、不登校生徒数・生徒指導上の問題行動・いじめ件数の減少傾向

アピールポイント (アイデアや工夫)：

- 1 情報共有の在り方を工夫・改善・見える化
 - (1)スモールミーティング (2)教職員の席配置見直し (3) 15分短時間研修
 - 2 教職員総出で全面展開
 - (1) 3人朝礼体制、クラス3人体制 (担任1 副担任2)
 - 3 教職員の相互作用による同僚性の高まり
 - (1) スモールミーティング (2) 教職員の席配置見直し (3) 15分短時間研修
 - 4 生徒の変容が推進力
 - (1) 出席率の向上 (2) 不登校生徒数減少 (3) 生徒指導上の問題減少 (4) いじめ件数減少
- 共通理解を持ち全職員で始めた取り組みは、職員の同僚性を高め、チーム浜商の総合力を高めるものになりつつある。少子化の続く地方の高校のみならず、日本中の高校へ1つのモデルケースになり得るものとする。

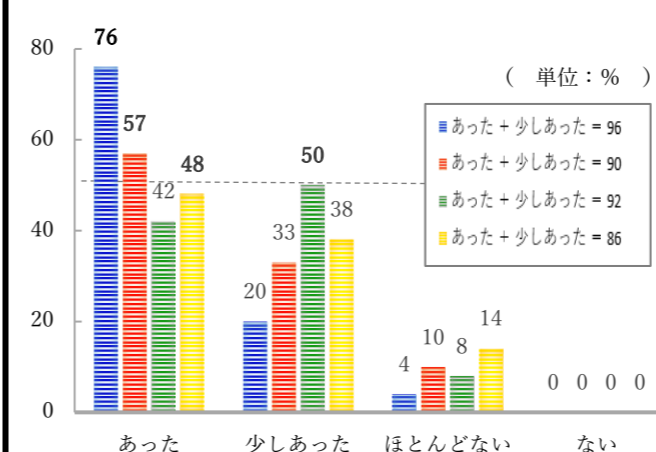
★チーム浜商実証実験★



(写真1)

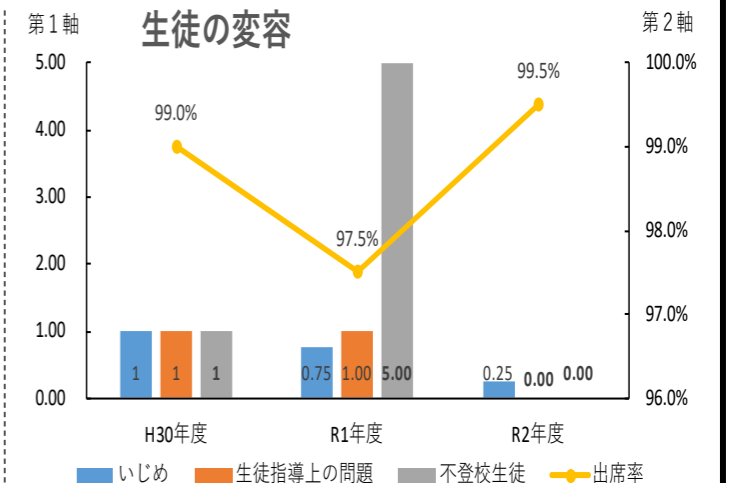


チーム活性化への取り組み



(資料2)

(資料1)



※ 第1軸項目はH30年度を基準値1とした増減値
 第2軸は出席率を示す

(資料3)